

特産品

パプリカ

肉厚な食感が特徴的な栄養価の高い「ピュアパプリカ」。地元JAには、ピュアパプリカの他に、ドレッシングなどの加工品もあります。



アスター

アスターは、キク科の植物で、別名エゾギクと呼ばれる中国原産の一年草です。花色が豊富なこともあって、最近ではフラワーアレンジメントで利用することが多いです。



トルコギキョウ

紫、桃、藤、白などカラフルな色がある綺麗な花で、花形も一重、二重、八重と様々です。ちなみに「トルコ」の国名が入ってますが、原産国は北アメリカです。



アクセス



お車の場合

福岡I.C	34km 車で約50分	田川市	25km 車で約40分	小倉南I.C
福岡市	43km 車で約70分		35km 車で約50分	北九州市
直方市	18km 車で約30分		23km 車で約35分	行橋市
飯塚市	15km 車で約25分			

JRの場合

- 博多駅～(JR篠栗線・後藤寺線)～田川後藤寺駅 70分
- 小倉駅～(JR日田彦山線)～田川伊田駅 60分
- 行橋駅～(平成筑豊鉄道)～田川伊田駅 40分
- 直方駅～(平成筑豊鉄道)～田川後藤寺駅 30分

お問い合わせ先

田川市建設経済部商工労政課

〒825-8501 福岡県田川市中央町1番1号

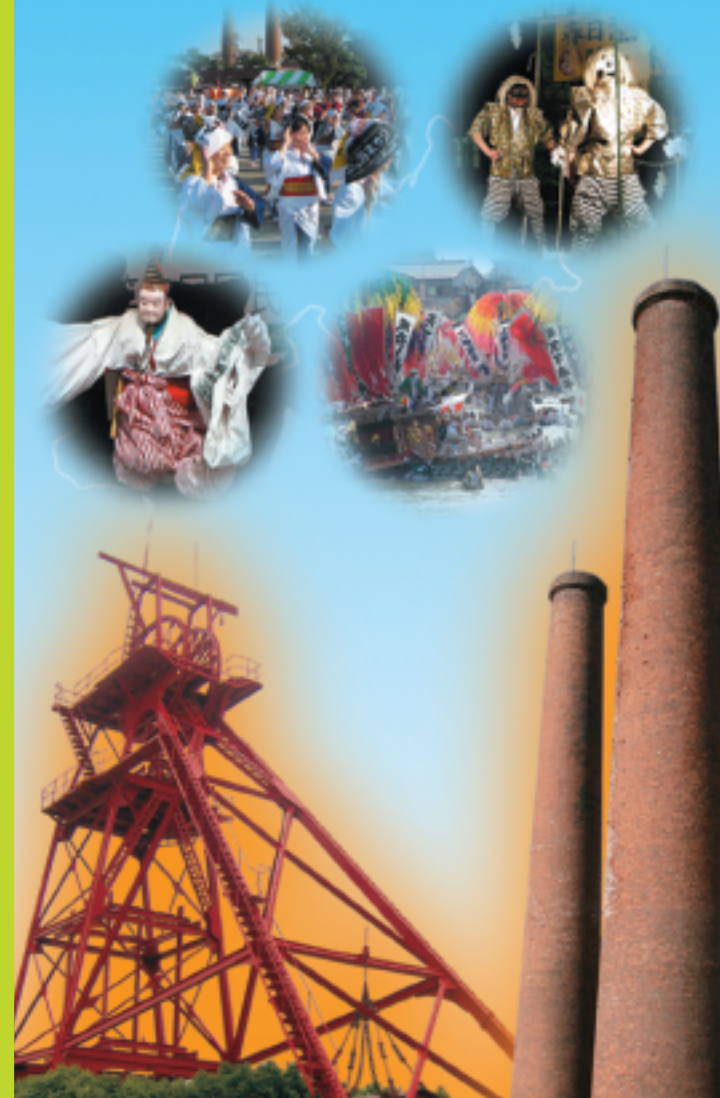
TEL:0947-44-2000 FAX:0947-46-0124

ホームページ: <http://www.joho.tagawa.fukuoka.jp>

T A G A W A C I T Y

たがわ

田川市まるごと 観光ガイドマップ



G U I D E M A P

田川のまつり

F E S T I V A L i n T A G A W A

川渡り神幸祭

5月の第3日曜日とその前日に開催される風土八幡宮の川渡り神幸祭は、福岡県五大祭りの一つにあげられ、県の無形民俗文化財に指定されています。みこしと山笠が彦山川を練り回り、色とりどりのパレン(穂先を模した飾り)を揺らし、彦山川を渡る様は勇壮で豪華を極め、筑豊に初夏を告げる祭りとして、毎年数万人の観衆の心をとらえています。永禄年間に疫病が流行した時、村人たちが願掛けをしたお礼として奉納されたのが起源と伝えられています。



岩戸神楽

約400年前から伝承されてきたもので、江戸時代の神楽の型がよく残されています。県の無形民俗文化財に指定されており、毎年、5月の第4日曜日とその前日に開催される神幸祭と8月の夏越祭、10月の神待祭に奉納されています。



伊加利人形芝居

伊加利地区に保存伝承された人形芝居で、稀有な郷土民芸として、県無形民俗文化財に指定されています。

TAGAWA

コールマイン・フェスティバル

「月がでた、でた、月がでた」で知られる「炭坑節」。その「炭坑節」の発祥地である田川市の歴史と文化を全国に発信する、秋最大の市民まつり「TAGAWAコールマイン・フェスティバル～炭坑節まつり～」。

『炭坑節』をキーワードに、気軽に楽しく誰でも参加できるまつりで、最終日の炭坑節総踊りは圧巻です。毎年、11月の第1日曜日とその前日の土曜日に開催されます。



炭都 田川物語

青春の門 筑豊田川

香春岳は異様な山である。決して高い山ではないが、そのあたえる印象が異様なのだ。

作家 五木寛之

筑豊を知るには、まずこれを読めとまでいわれる『青春の門』。作家・五木寛之氏のライフワークとも言える第10回(昭和51年)「吉川英治文学賞」を受賞した大長編小説です。【筑豊編】【自立編】【放浪編】【墮落編】【望郷編】【再起編】と続く大河のような作品は筑豊のシンボル、香春岳の描写から始まります。

北から南へなだらかに続く福智山系は田川市の東北にそびえる香春岳で終わる。南から一の岳、二の岳、三の岳と、三つの峰からなるこの山は一の岳が採掘によりざっくりと削られ、白い地肌をさらしています。

主人公・伊吹信介が幼少時代を過ごした田川のまち、そして繰り返し繰り返し、しつようなまでに描写される香春岳、伊吹信介は五木氏自身ではないが、まぎれもなく筑豊は五木氏にとっての原風景といえます。



炭坑の記録絵

(県指定有形民俗文化財)

山本作兵衛
(1892~1984)

炭坑記録画の作者である故山本作兵衛は、炭坑労働、炭坑社会の姿を描き、高い評価を得ています。画集は「明治大正炭坑絵巻」、山本作兵衛画文「筑豊炭坑絵巻」、「王国と闇 山本作兵衛炭坑画集」、文画集「筑豊炭坑絵物語」の4冊があります。



田川歳事記

1月 伊加利人形芝居



3月 丸山公園花まつり



5月 川渡り神幸祭



5月 岩戸神楽



11月 コールマイン・フェスティバル



1 岩屋鍾乳洞

石灰岩地帯にあり、古生代の特異なものです。入口から約170メートル地点までは探勝コースとして整備されています。



2 バクチノ木

亜熱帯から温帯にかけて分布する常緑高木で、樹皮がうろこ状になってはがれ落ちるのを「ばくちに負けて身ぐるみはがれる」のに例えられて、この名前がついたと言われています。



3 ロマンスケ丘

遠くから見るとまるで白い羊が群れているように見える石灰岩カルスト台地。この丘より望む絶景からロマンスが丘と名づけられました。



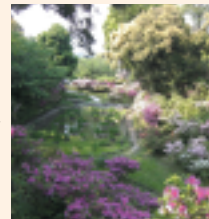
4 田川市美術館

「筑豊からの発信」をテーマに、筑豊地区初の公立美術館として設立。ふるさとの美術を広く紹介するとともに、様々な企画展の開催や市民の発表の場としても利用されています。



5 成道寺公園

広いグラウンドと閑静な自然の趣を持った公園で、市民の憩いの場として親しまれています。5月初旬には、全園がツツジにつつまれます。



6 石炭記念公園

田川伊田駅の裏にある炭坑跡地一帯を公園とし、田川にある石炭文化や炭坑遺産を公園内に残そうとして建設されたものです。



TAGAWA CITY



7 石炭・歴史博物館

約15,000点の資料を収蔵し、炭鉱の歴史や、炭鉱から生まれた文化などを分かりやすく展示しています。



8 やぐら&煙突

文化創造都市 田川を象徴する炭坑遺産。伊田竪坑槽：深さ314m、高さ23m。煙突：高さ45.5m 使用レンガ枚数 213,000枚。ともに平成19年度国登録文化財。



9 総合グラウンド

ウォーキングロード、運動公園等を備えた総合公園です。公園内には、大型のスベリ台やロープでできたジャングルジム等の遊具もあります。



10 丸山公園

園内には、約1,000本の桜の木があり、桜の名所として有名な丸山公園。毎年3月下旬から4月中旬ごろまで、「花まつり」が開催され、多くの人でにぎわいます。



GUIDE MAP